

一般会計予算審査の要旨

一般会計予算審査特別委員会

- 委員長 稲葉 義仁
- 副委員長 西塚 孝男
- 委員 内山 慎一
- 委員 藤井 廣明
- 委員 鈴木 勉
- 委員 山田 直志

歳入

○町税は、19億586万5千円で前年対比43万円の増であるが、個人町民税1207万円増の他は、法人町民税、固定資産税、たばこ税などは減収している。

★コンビニ収納にも取り組む。督促、執行停止などの滞納事務を確実に執行し収納率の向上を図りたい。

○入湯税は1億2750万円、町内で2軒の開業を見込んで観光客85万人を計上。3万人、450万円の減収が見込まれている。



歳出

○細野高原維持管理料200万円は、防火線刈・焼き、山焼きへの補助である。

★危険な箇所が多いので範囲の見直しが必要である。

○空き家バンク推進事業60万円は、家の取得費や家賃、リフォームの補助金。

○出会い創出事業82万7千円は、園芸サークルを通じた出会い創出などを計画している。

○地域おこし協力隊事業2169万9千円は、3人から6人へ増員して、耕作放棄地対策や天草事業での活用を図る。

○結婚新生活支援補助金240万円は、町内で結婚される場合の引越に24万円の補助を行う。



○若者定住促進住宅取得補助金1100万円は、若い方が町内での住宅取得に70万円を、町内業者によるリ

フォームに50万円などを補助する事業。

○小規模保育事業補助金1650万円は、町内に0歳から2歳児を19人まで預かる事業所の建設費に対する補助金。

○ひとり親家庭等就学・子供学習支援事業72万4千円は、ランドセルの支給や放課後に塾の取り組みを行うもの。



○奈良本農道取付・排水路整備工事1100万円は、太田の道路と排水路の整備費用。

○中山間地域総合整備事業負担金1500万円は、県が実施する稲取地区農道と奈良本地区の農道整備への負担金。

○稲取漁港直販施設詳細設計費900万円は、役場前に農水産物の販売所を作るための費用。

★施設整備が先行している。生産者など広く協議検討していくことが必要である。

○入谷天城1号線改良工事660万円は、入谷ハンター先の道路拡幅のために、用地取得・立木補償などを行うもの。

○稲取片瀬線舗装補修工事1100万円は、稲取町営住宅先の町道の舗装を補修する費用。

○偉人DVD作製業務委託料108万円は、「わが郷土」を基にしたDVDの作成費用。

特別会計予算審査の要旨

特別会計予算審査特別委員会

- 委員長 笠井 政明
- 副委員長 飯田 桂司
- 委員 栗原 京子
- 委員 村木 脩
- 委員 森田 禮治
- 委員 定居 利子

●国民健康保険会計

問 国保の世帯数と被保険者数は。

答 一般被保険者は、2722世帯4390人で、前年対比95世帯282人の減。退職被保険者は、66世帯77人で、前年対比60世帯73人の減である。

問 高額医療費が伸びている要因と病名は何か。

答 ガンやC型肝炎で高額な薬を使うケースが増えてきている。また、透析や心臓疾患の手術が増えれば要因となる。

●後期高齢者医療会計

問 収納率は。

答 予算については、静岡県県広域連合の試算額により計上している。収納率については、29年2月末で普通徴収現年度分85・27%、滞納繰越分36・85%。特別徴収現年度分100%となっている。

●介護保険会計

問 介護予防・生活支援サービス事業について、認定を受けていない人も利用できるのか。

答 制度改正により、これまで予防給付で実施していた介護予防訪問介護・通所介護について町が実施する地域支援事業で実施することとなった。要支援認定者の中で訪問介護と通所介護のみを利用する方と、認定を受けなくても窓口でチェックリストを実施し、事業対象者となった方が対

●稲取財産区会計

問 町長の提案で地域おこし協力隊を公募し、天草漁を担わせると聞いたが現状は。

答 地域おこし協力隊については、先日面接を実施し1名を仮決定した。ダイビングで雑草取りなどから始め、技術を磨いてもらう予定。ダイビングでは浮遊した状態で漁を行うため、面潜で行うよりも作業効率は悪くなり水揚高に影響が出るのではと懸念する。



●風力発電事業会計

問 事業の今後の見込みは。

答 昨年5月から12月までは、3基とも停止していた。今年度は基金を繰り出して何とかやりくりしたが、現在も3号機は停止している。動かすには4400万円ほどかかるため修理もできない状況。このままではぎりぎりの運営となり基金も450万円くらいしか見込めない。そこで一般会計に迷惑をかけないためにも、技術を持った会社が運営したほうが良いという判断をした。現在1社に相談をかけている。町有で民営という形を想定。

問 解体資金はあるのか。

答 現状の運転状況のままでは厳しい。

●水道事業会計

問 水道料金の状況はどうか。

答 収益的収入は水道事業で、前年度より1412万

○委員会からの意見

風力発電事業は平成15年の事業開始から現在、地方債（借入金）の償還も残り2年となったが、3号機が停止して残り2基での稼働となり経営状況の先行きが不透明である。今後の経営に対し早期の対応を望む。

問 企業債（借入金）の残高は。

答 平成29年度末には9億2208万円となる。毎年の元金及び利子の償還金は、1億1300万円。返済終了は平成41年度。

問 企業債（借入金）の残高は。

答 平成29年度末には9億2208万円となる。毎年の元金及び利子の償還金は、1億1300万円。返済終了は平成41年度。